

令和7年度第2回鉄鋼専門部会（議事要旨）

1 日 時 令和7年10月2日（木） 9時30分～10時30分

2 場 所 山口地方合同庁舎2号館5階共用会議室

3 出席者 公益代表委員 3名
労働者代表委員 3名
使用者代表委員 3名

4 議 題

- （1）金額審議について
- （2）その他

5 議事要旨

- （1）事務局から資料について説明した。
- （2）労使代表委員からそれぞれ主張が述べられた。

労働者側から鉄鋼産業の情勢についての説明に続き、「基幹産業の持続的な成長には優秀な人材の確保が必要であること、春闘において鉄鋼業の賃上げ率は6.56%で、県内産業5.19%と比較しても高い回答であること、高炉3社の収益状況も確保の見通しを示していること及び地域別最低賃金に対する優位性の担保等から具体的な金額として、今年の春闘の引上げ率6.56%、対地賃比率1.140の維持等から、引上げ額73円、時間額1,189円を提示する」との主張が行われた。

使用者側においては「鉄鋼産業の現況や先行きは自社の努力だけではどうにもできない外的要因が数多く顕在し、他県に比べ鉄鋼最賃の水準が非常に高いこと、大幅な賃上げは中小・小規模事業者に与える影響を踏まえると今年度の引上げ額については県最賃の引上げ額は参考にすべきではないと考える。しかしながら鉄鋼産業の優秀な人材確保の観点、鉄鋼産業の優位性を考えると引上げは必要なものとの認識に立つ。よって、春闘結果の300人未満の引上げ率4.64%を適用すると51.8円、経営者協会がまとめた2025年賃上げ状況に関する調査結果の中小事業の賃上げ率4.6%を適用

すると51.3円となり、どちらも切り上げで52円、過去最大の引き上げとなった昨年度と同額の52円、時間額1,168円を提示する」との主張が行われた。

(3) 事務局から今後の日程の確認を行った。